

桜風 (NO9)

三島市立錦田中学校 2020.1.17

明けましておめでとうございます。

本年も、錦田中学校の教育活動へのご理解とご協力を
よろしくお願いいたします。

新しい年を迎え、決意を新たに生徒たちが登校してきました。正月の三が日は、天候にも恵まれ、暖かな良いお正月となりました。多くの生徒はニコニコと穏やかな表情で登校してくれました。年末・年始とご家族で、ゆっくりと過ごすことができたのではないかと想像できました。今年も錦田中学校の生徒、そして保護者・地域の皆様にとって良い年になることをお祈りしております。(右の写真は美術科の宇津木先生が、1月5日にチョークで黒板に描いてくれた絵です。干支のあるネズミのミッキーマウスやトムとジェリーが描かれています。)



旧年中におきましては、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年も教職員一同力を合わせて、子どもたちの成長のために尽力して参りたいと考えております。本年もよろしくお願いいたします。

1 本校にある石碑について



左の写真は、来賓玄関横にある校訓「自学 創造」の石碑です。この石碑は、平成2年度卒業生の記念品として建立されたものです。錦田中の第7代校長である土屋 久先生の名前も刻まれています。また、石碑に刻まれた字の元になる書については、第6代校長の鈴木貞夫先生が書いたことが刻まれています。

本校の歴史と校訓「自学（自分から学ぶこと）、創造（何もないところから、つくっていくこと）」の精神が込められています。

右の石碑は、正門の右側に建っている石碑です。これは、東中と坂中が合併して新校舎が落成されたときに建立された石碑であると思われます。

この石碑には、「強く 広く あたたく」と刻まれています。これは、昭和47年に2つの中学校が合併した錦田中学校の生徒に、「こうあるべき、こうあってほしい」という願いが込められて建立され



ました。改めて、「強く 広く あたたかく」の言葉どおりに成長してくれることを願っています。刻まれた文字の元になった書は、有名な書家である丹丘先生の書であることが分かります。



左の写真は、南門の右側にある石碑です。ここには「若き心 若き命 永遠に若かれ」と刻まれています。

この石碑を「希望の碑」と言います。この石碑は、不幸にも交通事故で亡くなられた生徒のことを忘れないために建立されたと聞いています。これには錦田中校歌の歌詞にある「若き心、若き命、永遠に若かれ」の言葉が刻まれています。その不幸な事故を忘れず教訓としてほしいという願いが込められ、毎年「希望の碑の集い」として交通安全教室が開かれています。

このように錦田中の敷地の中には、多く地域の方々や保護者、在籍した校長や教員の願いや希望が込められた石碑があることを知ってほしいと思います。

このように錦田中の敷地の中には、多く地域の方々や保護者、在籍した校長や教員の願いや希望が込められた石碑があることを知ってほしいと思います。

2 生徒と園児の微笑ましい姿が見られました。

12月10日(火)・11日(水)・12日(木)、本校の3年生と恵明キッズサクラビレッジ保育園、恵明キッズコスモスビレッジ保育園、恵明フヨウビレッジ保育園の園児との交流会が開かれました。

これは3年生の家庭科の「家族・家庭と子どもの成長」の単元において、幼児の遊びの意義など、幼児への理解を深めるための体験授業で、事前に幼児の遊び道具の製作も行っています。3年生の司会進行で、グループを作り3年生が製作した遊び道具などを使って交流を行いました。

はじめは、園児とどう接していいのか分からなく緊張した顔をしていた3年生や園児も一緒に遊んでいる内に打ち解け、笑顔になっていく様子が見られました。体の大きな中学3年生と小さな園児たちが一緒に遊ぶ姿は微笑ましく、楽しい交流会となりました。今後もこうした交流を大切にしていきたいと思います。体験授業に参加してくださった保育園の園児、職員の方々、本当にありがとうございました。

